

# はじめに

## ■これからの農産物に求められるものとは

---

消費者が農産物に求めるものは何でしょうか？

農林水産省が平成 29 年度に実施した調査によると、野菜・果物を購入する際に特に重要と考えているのは「味・鮮度」「価格」の順となりました。では、安くて美味しい農産物を生産するだけでよいのでしょうか？

日本の農産物は、農業者の努力もあり、一定以上の品質が確保され、安定的な供給がされてきました。しかし、近年では、食のグローバル化が進み、消費者に届くまでのサプライチェーンがより複雑になっており、農産物の安全性を消費者へ伝える必要性が高まっています。また、気候変動や地球温暖化によって、農産物の品質が低下したり、相次ぐ大規模自然災害で農場が被害を受けるなど、農業が環境から受ける影響はますます大きくなっています。

こうした状況に対応していくには、農業生産における持続可能性を確保することが大切です。

持続可能性を追求する動きは、世界に広がっています。2015 年、SDGs（持続可能な開発目標）が国連サミットで採択されたことを受け、民間企業や市民の参加が積極的に呼びかけられ、持続可能な社会の実現に向けた取組が世界各地で始まっています。

SDGs への関心の高まりからもわかるように、これからの農産物に求められるものは、持続可能な取組によって生産された農産物です。そして、これを実現する方法の 1 つが、これから説明する「<sup>ギャップ</sup>GAP」に取り組むことです。「GAP」に取り組むことで、農場経営の改善を図ることも可能になります。

では、「GAP に取り組む」とはどのようなことなのでしょうか？また、取り組むことによってどんな効果が生まれるのでしょうか？

## ■<sup>ギャップ</sup>GAPって？

GAPは、Good Agricultural Practices の頭文字をとった言葉で、直訳すると「よい農業のやり方」という意味ですが、一般的には「農業生産工程管理」と呼ばれています。

工程管理というとなんとなく難しくそうですが、言い換えれば、「農産物を作る際に適正な手順を守り、モノの管理を行い、持続可能性を確保する取組」のことです。

よい                      農業の                      やり方  
**GAP = Good Agricultural Practices**

「適正な農業のやり方で生産しよう！」  
という取り組みのこと

GAP は、以下のような5分野の取組を行います。

- 農産物汚染や異物混入の防止といった食品安全の取組
- 化学農薬・化学肥料の使用量低減などの環境保全の取組
- 農作業の安全確保や健康状態への配慮などの労働安全の取組
- 労働環境の整備や労働条件の遵守などの人権保護の取組
- 責任者や役割分担の明確化や教育訓練の実施といった農場経営管理の取組



## ■GAP は日常的な取組

農場が整理整頓されている現場なら必要なモノが探しやすく、安全に管理することができます。

作業手順がルール化されていれば、だれもが同じ手順でムダなく作業ができます。

もしもの事故が起きたときでも、事前に対応が準備されていればパニックにならず迅速に対処できます。

こんな日常的な取組が GAP の基本です。一つ一つは難しいことはありませんが、それを継続して実践することが大切なのです。

### たとえば「5S の実践」

整理、整頓、清掃、清潔、習慣の 5 つの「S」。

これを毎日行えば、それだけで作業の効率化やリスクの軽減が図られます。



### たとえば「記録を残すことの重要性」

作業工程のチェックリストを作成し、作業時に毎回チェックをすれば、作業ミスを減らせます。

言った・言わない、聞いていないなどの問題を防ぎ、作業ミスの本質的な解決が可能になります。

作業ミスが起こった場合も、記録を残しておけば、どの工程でだれが作業ミスをしたかをさかのぼって調べることができます。記録は事故を起こさないためにも、また、万が一、事故が起こった場合にも、大切な情報として活用できます。



## ■GAP の実践と認証取得

GAP には、「GAP に取り組む」こととともに、その GAP の取組を客観的に第三者に評価してもらう「GAP 認証をとる」という仕組みがあります。

### 「GAP に取り組む」とは

農業者が GAP の取組を自ら実践することです。

### 「GAP 認証をとる」とは

GAP 認証は、第三者機関の審査により GAP が正しく実施されていることが確認された証明のことです。GAP 認証をとることで、これにより GAP を実施していることを客観的に証明することができますが、審査には費用がかかります。

まずは、GAP について学び、取り組み始めてみましょう！